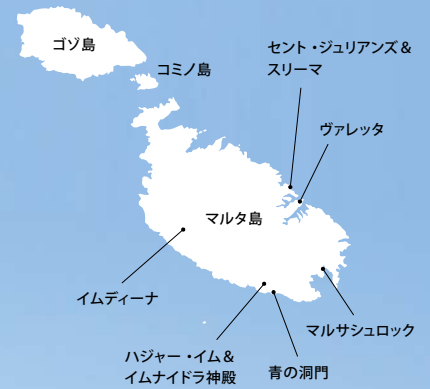


太陽ふりそそぐ地中海に浮かぶ 青い海の楽園アイランド!

イタリアの南、地中海に浮かぶ小さな島国・マルタ。
“空飛ぶ船”の絶景と、神秘の神殿、旧市街が世界遺産に登録されている首都。
マルタは、見どころポイントがぎゅっと詰まった宝箱みたいな島!



Malta

マルタ



コミノ島のブルーラグーン。海底に船の影が落ち、まるで船が飛んでいるように見える

ヨーロッパを代表するリゾート、ブルーラグーン



マルタ島にある青の洞門。ボートで洞窟内に入れる



ヴァレッタにある聖ヨハネ大聖堂。黄金の内陣にうっとり





あまりにも透き通る海！
ここでは、船が空を飛びます☆

写真・文：クルーボ・ピコ(地球の歩き方)



島の西部では美しい夕日が見られる



首都ヴァレッタをぶらぶらおさんぽ

旅のヒント in マルタ

時差

日本より8時間遅れ。
サマータイム時は7時間。

ビザ

180日間で90日以内の滞在なら不要。

通貨

ユーロ
(2016年4月現在€1=125.83円)

物価

日本よりも安い。
特に交通費や外食費は割安感あり。

気候

1年を通して温暖で、雨が少ない。
夏は5～10月頃で、連日30℃を超え日差しも強烈。
冬は雨季に入り、天気が変わりやすくなる。

ベストシーズン

海水浴は6～10月頃がベスト。
11～3月はシーズンオフで、
ビーチやリゾート地の店は多くがクローズする。

5泊7日モデルルート

マルタは首都ヴァレッタがあるマルタ島を中心に、北のゴゾ島、マルタ島とゴゾ島の間にあるコミノ島など5つの島に分かれている。国土は小さく、交通機関も発達しているの、4日あれば回れる。

DAY 01 日本 ⇨ マルタ(マルタ島)

⋮

DAY 02 マルタ島

⋮

DAY 03 マルタ島

⋮

DAY 04 マルタ島 ⇨ ゴゾ島

⋮

DAY 05 マルタ島 ⇨ コミノ島

⋮

DAY 06 マルタ(マルタ島) ⇨ 日本

⋮

DAY 07 日本着

詳細は…

「地球の歩き方 南イタリアとマルタ編」へ

本体：1700円＋税

発行：ダイヤモンド・ビッグ社
www.arukikata.co.jp/guidebook



青い空と海! リゾートとしてのマルタ

マルタ島の北部からゴゾ島にかけてはビーチリゾートが多くあり、夏季の観光シーズンには青い海を求めてヨーロッパ中から観光客が訪れる。紺碧の海に囲まれたマルタのなかでも特に美しいといわれるのが、コミノ島のブルーラグーン。ここでは写真集やSNSで話題となった“空飛ぶ船”が見られる場所。波の穏やかなラグーンは、海底までくっきり見えるほど透明。船の上から見ればコバルトブルーの海が望め、勢いよく飛び込めば視界一面がやわらかなガラスみたいにキラキラと輝く感動の光景が見られるはずだ。ちなみに“空飛ぶ船”とは、空と同じ色をした海の底に船の影が映ることから、空を飛んでいるように錯覚してしまうというわけ。実際に飛ぶわけではないので、ご心配なく。コミノ島へは、マルタ島の中心であり、宿泊施設やレストラン、ショップが集中するスリーマからツアーで簡単にアクセスでき、マルタ島の北部からはフェリーでも結ばれている。市街地に滞在しながら日帰りで美しい海に足を運べるのは、小さな島国ならではの利点だ。



①たくさんのパラソルが並ぶコミノ島のブルーラグーン ②夏の日差しは強烈なので、帽子や日焼け対策を忘れずに ③リゾートにはオーシャンビューのレストランも多い ④透明な海で海水浴を楽しんで!



⑤現在も首都として機能するヴァレッタ ⑥マルタ島の南部にあるハジャー・イム神殿とイムナイドラ神殿 ⑦マルタ南部の漁村、マルサシュロックではマーケットも行われる ⑧イムディーナでは馬車で街を一周できる

古代遺跡と 世界遺産の街歩き

マルタが歴史に登場するのは、なんと今から5000年以上も前の先史時代のこと。マルタ島とゴゾ島には、その時代に築かれた巨岩神殿があちこちに残る。その数は約30にもものぼり、そのうちの6基がユネスコの世界遺産に登録されている。神殿は、一見するとただ岩が積みあげてあるだけに思える。しかし、見上げるほどに巨大な岩を5000年以上も前に人々が運んだことを考えると、また違って見えてくるから不思議だ。エジプトのピラミッドよりも古いといわれる、古代遺跡のロマンを感じよう。中世になると、マルタは聖ヨハネ騎士団(マルタ騎士団)のもと大きな発展を遂げることになる。マルタ島のヴァレッタやイムディーナといった要塞都市は、当時のままの姿を残す街。どちらも「マルタストーン」と呼ばれるハチミツ色の石灰岩で築かれており、ヴァレッタは世界遺産にも登録されている。古い教会や宮殿などの壮麗な建物が連続する街を歩いていると、中世にタイムトリップしたかのような気分になってしまう。教会や博物館といった観光スポットからレストラン、カフェ、ショップも多いので、寄り道しながら思いおもいに散歩してみて。

挽肉を牛の薄切り肉で巻いたブラジオーリ



TOPIC 01 Gourmet

南イタリアの流れを汲む美食

魚やエビ、貝など豊かな海の幸を使ったイタリアンと、素朴な肉料理のローカルフードがレストランの人気メニュー。

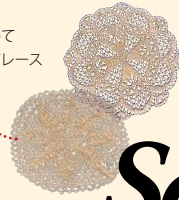
マルタ料理の定番、ウサギ肉の煮込み



ロブスターの pasta



ボビンを使って織り込むゴズレース



TOPIC 02 Souvenir

手仕事と自然派フードが主

島の人が手作業でつむぐレースや銀線細工(フィリグリー)はその繊細さにうっとりしてしまう。また、ゴズ島のハチミツは最高級品だ。

ハチミツを使ったケア用品も人気



リングやネックレスなどバリエーション豊富なフィリグリー

* We love Malta *

マルタを楽しむための 4 TOPICS

気になるグルメ&おみやげ情報に、島の観光を彩る人やネコたちとの出会いまでマルタの隠れた魅力をご紹介します。

TOPIC 03 People

やさしく、ほがらかなアイランダー

治安のいいマルタは、アイランダーたちもとっても穏やか。思い切って、話しかけてみて! 道を聞けば、笑顔で教えてくれるはず。



TOPIC 04 Cats

そこかしこにネコを発見!

実はマルタは、写真集まで発行されている「ネコの島」なのだ。テーブルの下に、路地の先、車の下、ふとした所で、きっと見つけられるはず。



* マルタのユースホステル *

Msida - NSTS Campus Residence

ADDRESS: 60 University Street, Msida, Malta
TEL: 00356255-88-370
URL: <https://www.hihostels.com/hostels/msida-nsts-campus-residence>
E-Mail: hostel@nsts.org
ドミトリー: 約1,900円~



Sliema - NSTS Hibernia Residence

ADDRESS: Depiro St, Sliema, Malta
TEL: 00356255-88-340
URL: <https://www.hihostels.com/hostels/sliema-nsts-hibernia-residence>
E-Mail: salesint@nsts.org
ドミトリー: 約1,500円~

